



2023年12月期 第3四半期 決算説明資料

2023年11月9日
富士ソフト 株式会社

目次

2023年 12 月期 第 3 四半期 決算

P2. 連結業績ハイライト

P5. グループ会社別 業績状況

P6. 連結セグメント別売上高・営業利益

P8. 連結損益計算書

P9. 連結貸借対照表

P10. 連結キャッシュ・フロー計算書

P11. 連結 S I 事業の受注高・受注残高



1.連結業績ハイライト①（3Q累計1-9月実績）

売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は、業務系では製造業・金融業を中心に各分野向けのインフラ構築・基幹系開発案件等が好調に推移し、組込系では自動車関連のEV・先進分野および、機械制御系の産業・家電分野向け開発案件が好調に推移した結果、前同比106.7%の223,668百万円となりました。

営業利益は増収および生産性の改善などにより増益

◇営業利益は、体制強化による人件費・採用経費等の増加はあるものの、増収および生産性の改善などにより、前同比111.3%の15,506百万円となりました。

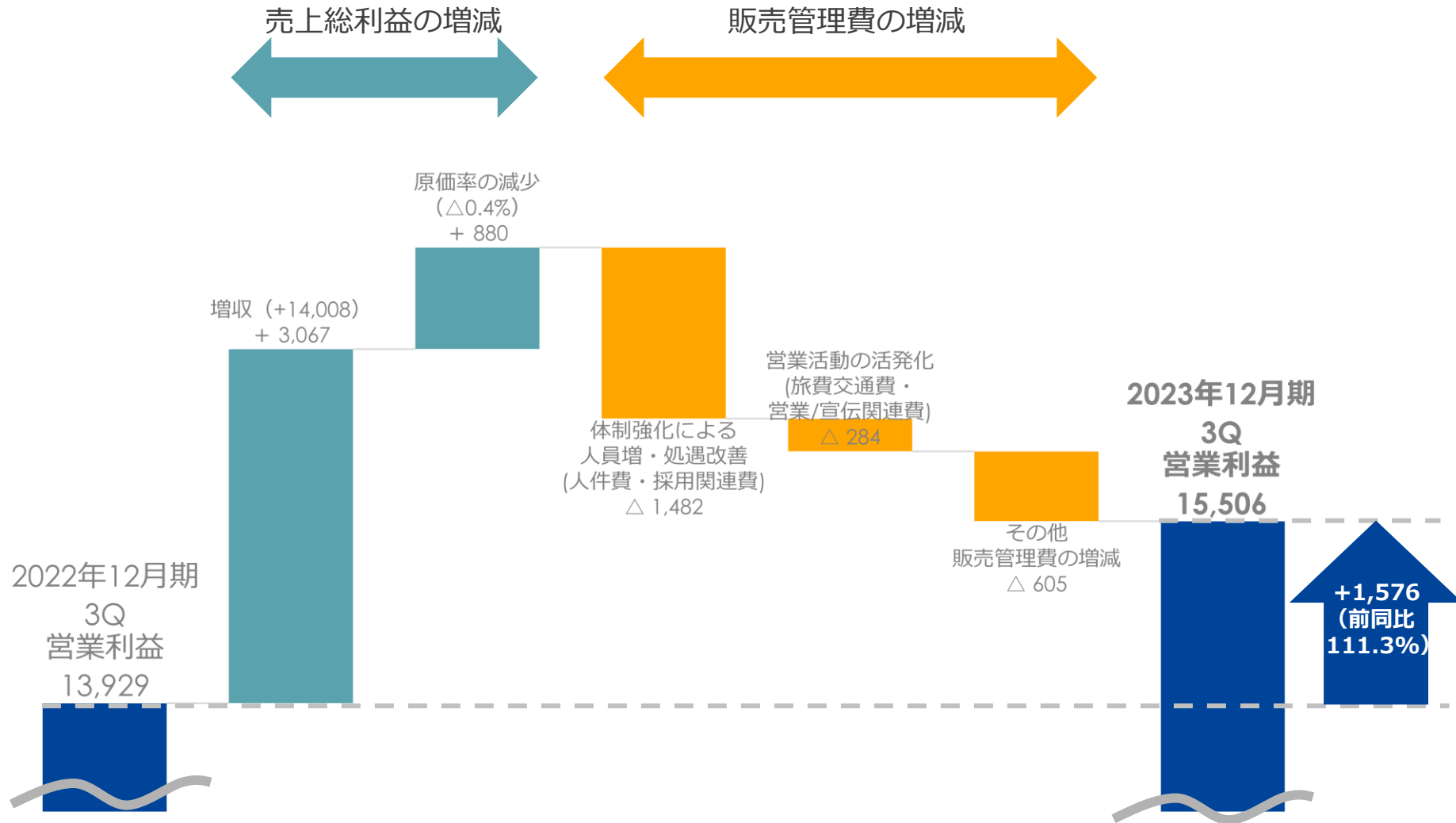
◇経常利益は、為替差益は減少したものの増収により、前同比105.0%の15,804百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、増収および有形固定資産売却により、前同比105.3%の9,326百万円となりました。

（単位：百万円）

	2022年12月期 3Q累計実績	2023年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2023年12月期 3Q累計計画	計画比
売上高	209,660	223,668	+14,008	106.7%	225,600	99.1%
営業利益	13,929	15,506	+1,576	111.3%	15,200	102.0%
営業利益率	6.6%	6.9%			6.7%	
経常利益	15,044	15,804	+759	105.0%	15,400	102.6%
経常利益率	7.2%	7.1%			6.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,857	9,326	+468	105.3%	9,300	100.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.2%	4.2%			4.1%	

連結営業利益の状況 (3Q累計1-9月実績)



1. 連結業績ハイライト② (3Q区間7-9月実績)

売上高は前同比105.6%と増収

売上原価率は76.6%に減少 (改善)

◇売上原価率は、システム構築分野の拡大・生産性の改善により、前年同期より0.6pt減少 (改善) となりました。(前年同期：77.2%)

販売費及び一般管理費は前年同期より550百万円増加

◇販売費及び一般管理費は、処遇改善・体制強化に伴う人件費の増加およびAIなどの新技術に関する調査研究の増加により、前年同期より550百万円の増加となりました。

◇営業利益は、前同比115.8%の5,715百万円となりました。

(単位：百万円)

	2023年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比	2023年12月期 3Q区間実績	前同差	前同比
売上高	151,480	+10,152	107.2%	72,188	+3,856	105.6%
売上原価	118,504	+7,535	106.8%	55,304	+2,524	104.8%
売上原価率	78.2%			76.6%		
売上総利益	32,975	+2,616	108.6%	16,884	+1,331	108.6%
販売費及び一般管理費	23,184	+1,821	108.5%	11,168	+550	105.2%
営業利益	9,790	+795	108.8%	5,715	+781	115.8%
営業利益率	6.5%			7.9%		



2. グループ会社別 業績状況 (3Q累計1-9月実績)

	2023年12月期売上高				2023年12月期営業利益		営業 利益率
	3Q累計実績	構成比	原価率	販管比率	3Q累計実績	構成比	
グループ連結	223,668	100.0%	77.7%	15.4%	15,506	100.0%	6.9%
富士ソフト	155,807 (+7.2%)	69.7%	78.9%	14.3%	10,565 (+23.1%)	68.1%	6.8%
<p>業務系では製造業・金融業を中心に各分野向けのインフラ構築・基幹系開発案件等が好調に推移し、組込系では自動車関連のEV・先進分野および、機械制御系の産業・家電分野向け開発案件が好調に推移し増収となりました。営業利益は、増収および生産性の改善により増益となりました。</p>							
サイバネットシステム	15,282 (+6.1%)	6.8%	60.6%	32.6%	1,034 (▲13.4%)	6.7%	6.8%
<p>シミュレーションソリューションサービス事業の国内における保守契約の更新及びITソリューションサービス事業が好調に推移したことなどにより、増収となりました。営業利益は、セールスマックスの変化などによる商品原価の増加、人的資本投資に伴う人件費の増加、営業活動量の増加に伴う旅費交通費の増加などにより、減益となりました。</p>							
ヴィンクス	25,181 (+4.2%)	11.3%	76.4%	13.4%	2,590 (+2.9%)	16.7%	10.3%
<p>売上高は、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。</p>							
サイバーコム	13,027 (+5.1%)	5.8%	79.7%	12.2%	1,056 (+7.5%)	6.8%	8.1%
<p>売上高は、ソフトウェア開発事業において金融系を中心とした業務系開発案件と、車載を中心とした制御系開発案件が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収及び原価率改善により増益となりました。</p>							
富士ソフト サービスビューロ	8,964 (+4.4%)	4.0%	81.9%	12.6%	493 (▲10.5%)	3.2%	5.5%
<p>売上高は、コールセンターサービス、BPOサービスともに前年度に開始した年金関連業務が寄与し、増収となりました。営業利益は、第2四半期累計期間までの不採算案件が影響し減益となりました。</p>							
その他子会社・連結調整	5,405	2.4%	87.1%	17.2%	▲235	▲1.5%	▲4.3%

3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023年12月期売上高		前同差	前同比	2023年12月期営業利益		前同差	前同比
	3Q累計実績	構成比			3Q累計実績	営業利益率		
全社計	223,668	100.0%	+14,008	106.7%	15,506	6.9%	+1,576	111.3%
SI事業	211,384	94.5%	+13,225	106.7%	14,140	6.7%	+1,422	111.2%
システム構築	133,864	59.8%	+11,994	109.8%	9,949	7.4%	+1,653	119.9%
組込系／制御系ソフトウェア	58,554	26.2%	+3,338	106.0%	4,999	8.5%	+485	110.7%
業務系ソフトウェア	75,310	33.7%	+8,655	113.0%	4,950	6.6%	+1,168	130.9%
プロダクト・サービス	77,520	34.7%	+1,231	101.6%	4,191	5.4%	△231	94.8%
プロダクト・サービス	66,856	29.9%	+1,736	102.7%	3,690	5.5%	+77	102.2%
アウトソーシング	10,663	4.8%	△504	95.5%	500	4.7%	△309	61.8%
ファシリティ事業	2,178	1.0%	+203	110.3%	801	36.8%	+156	124.3%
その他事業	10,105	4.5%	+579	106.1%	564	5.6%	△2	99.6%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、モバイル系および社会インフラ系は減少したものの、自動車関連においてEV関連分野、機械制御系において産業・家電分野向け開発案件が好調に推移したことにより、前同比106.0%となりました。

営業利益は、増収により前同比110.7%となりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、製造業・金融業を中心に各分野向けのインフラ構築・基幹系開発案件等が好調に推移し、前同比113.0%となりました。

営業利益は、増収および生産性の改善などにより前同比130.9%となりました。

●プロダクト・サービス

売上高は、子会社における自社プロダクトおよび他社ライセンス販売が堅調に推移したことなどにより、前同比102.7%となりました。

営業利益は、増収により前同比102.2%となりました。

●アウトソーシング

売上高は、海外小売業向けITサービスの減少により、前同比95.5%となりました。

営業利益は、減収およびデータセンターにおける電力価格高騰の影響により前同比61.8%となりました。



(参考)富士ソフト単体：セグメント別業績状況

	2023年12月期売上高		前同比	原価率	販管比率	2023年12月期営業利益		前同比	営業利益率 前同差	
	(単位:百万円)	3Q累計実績				構成比	3Q累計実績			営業利益率
全社計		155,807	100.0%	107.2%	78.9%	14.3%	10,565	6.8%	123.1%	+0.9pt
SI事業		153,139	98.3%	107.2%	79.3%	14.3%	9,759	6.4%	123.0%	+0.8pt
システム構築		107,532	69.0%	110.8%	75.0%	17.3%	8,271	7.7%	128.0%	+1.0pt
組込系／制御系ソフトウェア		54,097	34.7%	107.8%	74.4%	16.7%	4,804	8.9%	115.5%	+0.6pt
業務系ソフトウェア		53,435	34.3%	114.0%	75.5%	18.0%	3,467	6.5%	150.5%	+1.6pt
プロダクト・サービス		45,607	29.3%	99.5%	89.7%	7.1%	1,487	3.3%	101.1%	+0.1pt
他社プロダクト		38,995	25.0%	100.0%	91.6%	5.0%	1,345	3.5%	136.6%	+0.9pt
自社プロダクト		2,094	1.3%	95.2%	69.5%	23.1%	156	7.5%	54.6%	△ 5.5pt
アウトソーシング		4,516	2.9%	96.8%	82.8%	17.6%	-14	-	-	-
ファシリティ事業		2,568	1.6%	108.5%	51.6%	16.9%	808	31.5%	123.7%	+3.9pt
その他事業		99	0.1%	72.6%	48.6%	53.8%	-2	-	-	-

2023年度の状況

システム構築	<ul style="list-style-type: none"> ・システム構築強化のための成長投資として、約20億円の人財投資(採用研修・教育関連)を実施(経年)
組込系/制御系ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・機械制御系や自動車分野における、お客様IT投資需要の高まりは継続中(コロナ禍からの回復基調継続) ・不採算案件による原価増加はあったものの、自動車分野・機械制御系を中心とした生産性改善により増益傾向
業務系ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを背景としたIT利活用の機運は高く、金融・製造向けを中心とした基幹系システム開発・インフラ構築案件が成長を牽引 ・管理体制、営業活動強化などによる販管費の増加はあったものの、生産性改善により利益率は改善傾向
他社プロダクト	<p>(概要) 他社ライセンス、ハードウェア関連製品の販売(受託開発案件に使われる他社製品販売も含む(開発付帯サービス販売))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益率は低いが、新規お客様開拓の接点作りのツールとして今後も一定レベルの維持推進
自社プロダクト	<p>(概要) 通信・クラウド・ロボット技術などシステム構築のノウハウを活用した、自社開発製品の製造・販売(SW/HW)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年の大型案件の反動により減収となっているが、新たなマーケット需要へ対応し、規模拡大を目指す
アウトソーシング	<p>(概要) システム開発案件の運用・保守、自社不動産を活用したデータセンター事業などトータルサービスの一環として推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力価格高騰の影響を受け、データセンター事業の原価増加による一時的な減益



4.連結損益計算書

(単位：百万円)

損益計算書のポイント

① 売上原価率 (△0.4pt)

一部グループ会社における不採算案件などの影響はあったものの、富士ソフトの生産性改善により売上原価率は改善

② 営業外収益 (△501百万円)

為替差益の減少

	2022年12月期	2023年12月期	前同差	前同比	2023年12月期	
	3Q累計実績	3Q累計実績			上期計画	計画比
売上高	209,660	223,668	+14,008	106.7%	225,600	99.1%
売上原価	163,748	173,809	+10,060	106.1%	-	-
売上原価率	78.1%	77.7%	①			
売上総利益	45,911	49,859	+3,948	108.6%	-	-
売上総利益率	21.9%	22.3%				
販売費及び一般管理費	31,981	34,353	+2,371	107.4%	-	-
販管费率	15.3%	15.4%				
営業利益	13,929	15,506	+1,576	111.3%	15,200	102.0%
営業利益率	6.6%	6.9%			6.7%	
営業外収益	1,337	836	② △ 501	62.5%	-	-
営業外費用	244	382	+138	156.6%	-	-
持分法による投資損益	22	△ 155	△ 177	-	-	-
経常利益	15,044	15,804	+759	105.0%	15,400	102.6%
経常利益率	7.2%	7.1%			6.8%	
特別利益	190	489	+298	256.6%	-	-
特別損失	408	125	△ 283	30.6%	-	-
税金等調整前四半期純利益	14,826	16,168	+1,342	109.1%	-	-
法人税等合計	4,457	5,364	+907	120.4%	-	-
四半期純利益	10,369	10,804	+434	104.2%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,512	1,478	△ 34	97.7%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,857	9,326	+468	105.3%	9,300	100.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.2%	4.2%			4.1%	



5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年12月期 期末	2023年12月期 3Q期末	前期末差	2022年12月期 3Q期末(参考)
流動資産	112,730	121,677	+ 8,947	107,715
現金及び預金	32,736	34,671	+ 1,935	31,539
受取手形及び売掛金	56,634	61,473	① + 4,838	53,605
有価証券	8,500	8,200	△ 300	8,000
たな卸資産	5,552	5,986	+ 434	4,972
その他	9,307	11,346	+ 2,038	9,597
固定資産	128,104	130,247	+ 2,142	126,735
有形固定資産	99,160	99,037	△ 122	98,248
無形固定資産	5,426	5,073	△ 352	5,038
投資その他の資産	23,518	26,136	+ 2,618	23,448
資産合計	240,835	251,925	+ 11,089	234,450
流動負債	71,945	75,539	+ 3,594	68,373
支払手形及び買掛金	14,083	14,208	+ 125	13,787
短期借入金	17,855	14,777	② △ 3,078	17,944
未払費用・賞与引当金	12,974	19,637	③ + 6,663	14,056
未払法人税等	2,828	4,725	+ 1,896	2,606
工事損失引当金	421	153	△ 267	258
その他	23,782	22,036	△ 1,745	19,720
固定負債	16,145	15,950	△ 194	16,333
長期借入金	8,783	8,529	△ 253	8,885
その他	7,362	7,420	+ 58	7,447
負債合計	88,091	91,490	+ 3,399	84,707
純資産合計	152,744	160,434	+ 7,690	149,743
負債純資産合計	240,835	251,925	+ 11,089	234,450

貸借対照表のポイント

① 受取手形及び売掛金 (+4,838百万円)

好調な業績に伴う営業債権の増加

② 短期借入金 (△3,078百万円)

計画的資金返済による減少

③ 未払費用・賞与引当金 (+6,663百万円)

富士ソフトの業績評価期間の変更に伴う賞与引当金の増加

6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2022年12月期 3Q実績	2023年12月期 3Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,343	13,662	+4,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,894	△ 5,688	+6,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,647	△ 8,672	△ 3,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	616	353	
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,582	△ 344	
現金及び現金同等物の期首残高	40,876	33,086	
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,294	32,741	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は増収・増益による入金増加により13,662百万円の収入となりました。

なお、前期に有価証券売却に伴う法人税等の支払増加があったことなどにより、前同差は4,319百万円の増加となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は有形固定資産売却による入金があったものの、予てより計画していた自社オフィスの建設費用やグループ会社における有価証券取得により、5,688百万円の支出となりました。

なお、前期に自社オフィス建設における支出増があったことにより、前同差は6,206百万円の増加となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は配当金の支払いおよび借入金の返済などにより、8,672百万円の支出となりました。

なお、前同差は3,025百万円の減少となりました。

7.連結S I事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2023年12月期 3Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	72,963	125.1%	213,333	103.9%	211,384	106.7%	74,912	109.1%
システム構築	46,427	121.3%	136,581	107.1%	133,864	109.8%	49,144	111.7%
組込系／制御系ソフトウェア	14,884	110.2%	60,005	106.0%	58,554	106.0%	16,335	109.5%
業務系ソフトウェア	31,542	127.4%	76,575	107.9%	75,310	113.0%	32,808	112.9%
プロダクト・サービス	26,536	132.3%	76,752	98.7%	77,520	101.6%	25,768	104.4%
プロダクト・サービス	24,717	135.7%	65,908	98.8%	66,856	102.7%	23,770	103.7%
アウトソーシング	1,818	98.2%	10,843	97.9%	10,663	95.5%	1,998	113.5%

受注高・受注残高のポイント

● システム構築分野のポイント

・ 組込系/制御系ソフトウェア

受注は、自動車関連および機械制御系が増加したことなどにより、前同比106.0%となりました。

また、期末受注残高は前同比109.5%となりました。

・ 業務系ソフトウェア

受注は、製造業及び金融業向けの開発案件が増加したことにより、前同比107.9%となりました。

また、期末受注残高は前同比112.9%となりました。

● プロダクト・サービス分野のポイント

・ プロダクト・サービス

受注は、ライセンス販売案件は増加したもののハードウェア製品販売案件の減少により前同比98.8%となりました。

また、期末受注残高は前同比103.7%となりました。

・ アウトソーシング

受注は、海外小売業向けITサービスの受注が減少したことにより、前同比97.9%となりました。

また、期末受注残高は前同比113.5%となりました。



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。